

# 令和6年度 神奈川県立追浜高等学校 不祥事ゼロプログラム

神奈川県立追浜高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的とし、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

## 1 実施責任者

神奈川県立追浜高等学校は、不祥事ゼロプログラムの実施責任者を校長とし、副校長、教頭がこれを補佐する。

## 2 目標および行動計画

- (1) 課題：個人情報等管理・情報セキュリティ対策 研究開発・管理職  
取組：個人情報の適切な取り扱いと情報漏洩防止を徹底する。  
目標：個人情報の取扱いを正しく行う。  
行動：個人情報をスマートフォンおよび携帯電話へ登録するときのきまり、USB メモリおよびSD カード等の使用  
規定について年度当初に周知する。正しい情報を提供するために、点検の重要性を認識し、徹底する。
- (2) 課題：わいせつ・セクハラ行為及びパワーハラスメントの防止 管理職  
取組：生徒への適切な対応を身につける。  
目標：パワハラ、セクハラ、わいせつ行為をしない。  
行動：研修会を通して人権の意識啓発に努める。また、日常から教職員のみならず生徒への接し方について意識を  
する。
- (3) 課題：体罰、不適切な指導の防止 管理職  
取組：体罰を起こさない職員組織を作る。  
目標：体罰の防止と適切な生徒指導を行う。  
行動：体罰および不適切指導の未然防止のための意識啓発を図る。また、人権意識を高め、生徒と良好な人間関係  
の構築に努める。
- (4) 課題：適切な経理処理 学校管理・管理職  
取組：職員全体が会計処理の手順を理解する。  
目標：会計処理を適切な方法で執行する。  
行動：私費会計の執行事務手続きについて、手順を理解する。また、現金の取扱いについて機会あるごとに注意を  
行い正しい執行の徹底に努める。
- (5) 課題：業務執行体制の確保 教務・管理職  
取組：ミスを事前に防ぐ意識を高める。  
目標：ミス防止のため、点検業務の必要性を理解する。  
行動：外部への配付文書の決裁、成績個票や指導要録、定期試験など校内で点検を必要とする業務の流れなどを確  
認して、ミスを起こさないよう注意喚起する。

- (6) 課題：交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止 管理職  
取組：交通法規の遵守を徹底する。  
目標：交通事故発生の未然防止および酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。  
行動：交通事故発生の未然防止や事故発生時の対応等の資料を配付し意識啓発を図り、認識の向上に努める。また、飲酒の機会等に、教職員が相互に注意し合える職場の環境づくりに努める。
- (7) 課題：服務規律遵守意識及びコンプライアンス意識の向上 地域連携・管理職  
取組：常に公務員としての自覚を持つよう注意喚起する。  
目標：公務に携わることを自覚し、業務を離れても周囲から信頼される行動を取れるよう意識付けを行う。  
行動：教員としてのポストにふさわしくない行為を検証し、服務について再考を促す。
- (8) 課題：部活動事故防止 生徒支援・管理職  
取組：熱中症の症状・処置を理解する。  
目標：部活動等で迅速な対応ができるようにする。  
行動：熱中症の具体的な症状、処置の手順を理解する。
- (9) 課題：進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 キャリア支援・管理職  
取組：進路関係の書類の作成におけるミス防止や慎重な取扱いを徹底する。  
目標：ミスを防止するための作成・点検の手順を理解する。  
行動：点検の手順を確認するとともに、取扱いに慎重を期すよう注意喚起する。
- (10) 課題：入学者選抜に係る事故防止 管理職  
取組：適切な業務マニュアルを作成し、確実な点検体制を徹底する。  
目標：点検体制を整え、職員が一つひとつの点検を確実に言い、適切な処理をしてミスのない書類作成を行う。  
行動：全職員でマニュアルや手順等の共有と着実な実施を行う。
- (11) 課題：職場のハラスメントの防止 管理職  
取組：職員が能力を十分に発揮できるような良好な勤務環境づくりを促進する。  
目標：職場のハラスメント防止にむけて組織的で恒常的な取組を行う。  
行動：教職員同士が意思疎通できる風通しのよい職場をつくる。

## 令和6年度 神奈川県立追浜高等学校不祥事ゼロプログラム計画

\*内容の（ ）内数字は、前記目標の番号

月	内 容	目 的
4	(1)児童・生徒の個人情報の取扱い (研究開発・管理職)	○個人情報の適切な取扱いを徹底する。
	(4)会計事務等の適正執行 (学校管理・管理職)	○適切な会計処理を確認する。
	(5)定期試験の注意 (教務・管理職)	○問題作成・試験監督に関する注意事項を確認する。
	(7)コンプライアンス意識の醸成 (地域連携・管理職)	○法令遵守の意識を醸成する。
5	(5)定期試験・成績処理の事故防止	○定期試験、成績処理に係る注意事項を確認する。
	(2)わいせつ・セクハラ行為の防止 (管理職)	○生徒・教育実習生の人権に配慮した指導を認識する。
	(8)熱中症予防・対策 (生徒支援・管理職)	○病状および緊急時の対応を確認する。
6	(5)成績個票・指導要録・調査書作成上の注意 (教務・管理職)	○成績個票・成績一覧表・指導要録・調査書の記載についての点検の重要性を認識する。
7	(3)体罰、不適切な指導の防止について (管理職)	○生徒の人権に配慮した指導を行うよう注意喚起する。
	(8)部活動指導上の注意 (生徒支援・管理職)	○熱中症の症状・処置を確認する。
	(9)進路関係書類作成上の注意 (キャリア支援・管理職)	○進路関係書類作成時の留意事項を確認する。
	(2)パワーハラスメントの防止 (管理職)	○生徒の人権に配慮した指導を認識する。
8	(7)服務規律の遵守 (地域連携・管理職)	○服務規律の遵守の意識を醸成する。
	不祥事ゼロプログラム中間報告	
9	(1)個人情報等管理・情報セキュリティ対策	○個人情報の適切な取扱いを徹底する。
10	(4)適切な私費会計の取り扱い (学校管理・管理職)	○私費の扱いを再確認し、適切な会計処理を徹底する。
11	(6)交通事故防止、飲酒運転の根絶、交通法規の遵守 (管理職)	○交通法規を遵守する意識を高め、交通事故・飲酒運転を防止する。
12	(10)入学者選抜に係る事故防止 (管理職)	○ミスを防ぐ点検を徹底する。
1	(11)職場のハラスメントの防止 (管理職)	○パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとする職場におけるハラスメント防止を徹底する。
2	(7)コンプライアンス意識の醸成 (地域連携・管理職)	○法令遵守の意識を醸成する。
3	(5)風通しの良い職場づくり (管理職)	○適切な業務執行体制の整備
	不祥事ゼロプログラム検証及び結果報告	

- 職員会議開催時に「不祥事防止研修会」を実施する。
- 不祥事・事故に関しての緊急を要する事例に関しては、管理職が朝の打ち合わせ等で報告し、喚起を促す。
- 「ヒヤリハット」の情報を共有し、「ほう・れん・そう」、(報告、連絡、相談)を徹底する。